

学校新聞



〈第 52 号〉

東 陽

編集・発行

豊橋市立東陽中学校

〒440-0022

豊橋市岩崎町字野田1-2

TEL(0532)62-8116

touyou-j@toyohashi.ed.jp

よりよい生き方を実践する力を育む

道徳教育の充実

― 地域の特色を生かした

道徳教育の推進―
校長 佐野 裕哉

令和7年度、道徳教育の推進校として、道徳教育の充実を図り、地域の特色を教育活動に生かすことを目的として、学校全体で研究に取り組みました。

まず、道徳の授業を充実させるために、道徳教育に精通した講師の先生を計画的にお招きし、授業の進め方や生徒の考えの引き出し方などについて指導をしていただきました。研究授業を複数回行い、一つの授業について全教員が考える機会も設け、授業改善に努めました。中でも、外国籍生徒も含まれた生徒全員が参加できる授業と、他者と考えや意見を交流しながら自身の考えを再構築する授業の実現に向けて、特に力を入れて道徳の授業を行うようにしました。

また、道徳教育に地域の特色を生かすために、地域の自然や史跡、行事や人々の思いをいくつかの道徳の授業の中に意図的に取り入れました。並行して、地域の行事やボランティアへの積極的な参加を促し、地域との関わりを深めたり、地域の方々と一緒に活動したりしました。校区や豊橋市という地域について改めて見直したり、地域の中での

自分たちのあり方やできることを考え直したりできる、よい機会になったと考えます。

六月と十二月に生徒向けに行った道徳に関するアンケートの結果を比較すると、生徒の意識が大きく変容したことがわかりました。特に、「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心で他に学び、自ら高めることができる」という質問では、全学年で「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた生徒の割合が大きく増えました。道徳の授業を通して、他者と意見交換することのよさに気づき、他者と関わり合う中で自身のよさを伸ばせたと感じた生徒が増えたことがうかがえました。他にも、道徳教育の充実に向けたことが生徒たちの自己肯定感の高まりにつながったり、物事を深く考えるきっかけになったりしたことがうかがえました。

本年度の成果から、来年度以降も道徳教育の充実に向けて取り組んでいくことの意味を強く感じることができました。授業を参観し、アンケートにご協力いただいた保護者の皆様、校外での生徒の活動を支えてくださった地域の皆様、日々、東陽中学校の教育活動に理解と協力をしてくださっている多くの皆様、皆様のおかげで、東陽中学校の教育活動の充実を図ることができています。職員一同、心よりお礼申し上げます。加えて、今後も変わらぬご支援、ご協力をよろしく願っています。

令和8年度

10月までの

主な行事予定

【4月】

9日 入学式・始業式
24日 PTA総会
授業参観

【5月】

8・9日 一年オリ合宿
18・19日 第一回定期テスト
30日 部活動保護者会
〃 資源回収

【6月】

2日 三年修学旅行
（～4日）
17日 第二回定期テスト
（～19日）

【7月】

18日 豊橋・学校のいのちの日
6日 保護者会
持ち寄り資源回収
（～8日）

【9月】

1日 始業式
10・11日 第三回定期テスト

【10月】

9日 東陽祭(体育祭)
30日 東陽祭
(文化祭・合唱コンクール)

※現時点での予定ですので

変更になることもあります。

令和7年度「学校評価アンケート」三者比較集計結果

		評価項目 ※対象者により質問の言葉は表現は変えてあります	1 よい 2 おおむねよい 3 やや不十分 4 不十分	分析
学 校	設問 1	学校は、魅力ある教育活動が展開されていると思いますか。(ソーラン踊り、体育祭、文化祭、合唱コンクール等)		生徒・保護者・教職員ともに、肯定的な評価の割合が高い。行事を楽しみにしている生徒・保護者も多く、すべての生徒が活躍できるような、さらに魅力ある行事を検討していく。
	設問 2	学校は、気軽に連絡や相談できる窓口(担任、部活動顧問、生活サポートなど)がありますか。		「3 やや不十分」「4 不十分」としている生徒・保護者の評価を真摯に受けとめ、相談・カウンセリング活動を充実させるように取り組んでいく。
	設問 3	ホームページやお便り、授業参などを通して、さまざまな情報を発信していますか。		全体的には肯定的な評価の割合が高い。今後も学級・学年通信や学校新聞、eメッセージ、ホームページなど多くの媒体を活用しながら、積極的に学校からの情報発信に努めていく。
	設問 4	地域社会のなかで、ボランティア活動や地域の行事に参加するなど、地域のために自分にできることをしたいと思いませんか。		全体的に生徒・保護者の評価がやや低い。自治会など、地域社会や保護者と連携しながら、将来の地域社会の担い手となるような生徒をさらに育てていきたい。
学 習	設問 5	授業でわからないところがあったら、先生に質問したり自分で調べたりしていますか。		保護者、教職員ともに、「1 よい」「2 おおむねよい」の評価が低い。学校教育目標にある「自ら知識を求め生徒」を育成するために、生徒が主体的に学習へ取り組むことができる授業展開を工夫する必要がある。
	設問 6	授業で学んだことについて、家庭学習などで更に自分で調べたり、直接先生に質問したりすることはありますか。		三者ともに多いが、特に教職員の「3 やや不十分」の評価が多い。問題解決学習を充実しながら、生徒の探求心の育成を図る学習を行い、「探求できる生徒」につなげたい。
	設問 7	授業では、友達と話し合っ問題を解決したり、自分の考えを深めたりしようとしていますか。		生徒たちは、学習で行う、話し合いや、かかわり合う場を楽しみにしている様子が感じられる。ただ、友達の考えや意見を聞き、「深い学び」につなげていくためにも、教職員の研修を充実させることが必要である。
	設問 8	タブレット端末を使っての学習は、自分の力を伸ばすことにつながっていると思いませんか。		タブレット端末を活用した授業の実践を充実させていく必要がある。さらに来年度は、「ミライシード」が導入されるため、個別最適な学びを深めるためにも、タイピングを含め、タブレットを活用していく能力をさらに育てていく必要がある。
	設問 9	定期テスト前だけでなく、いつも計画的に学習に取り組んでいますか。		三者ともに「1 よい」「2 おおむねよい」の項目が低い。学校だけでなく、家庭学習の情報を含めて、学校・保護者で共有しながら、「自ら学ぶ生徒」の育成を旨とし、検討することが必要である。
生 活	設問 1 0	スマートフォンやゲームについて家庭でルールを決め、それを守ろうと努力していますか。		生徒の評価が二極化している項目である。また、保護者の評価は全体的に低く、二者の間に差があり、家庭で使用に関して継続的に話をしていくことが大切である。また、学校保健委員会や学級活動の時間にも、健康にもたらず影響と情報モラル教育を合わせて行っていく。
	設問 1 1	家庭や地域、学校などのあらゆる場面で、自分からすすんであいさつしようとしていますか。		三者において、「1 よい」「2 おおむねよい」の評価が高い。特に生徒の評価が高く、あいさつに自信をもって取り組んでいる様子がうかがえる。
	設問 1 2	学校や家庭において、時間を意識して行動することができていますか。		三者において、「1 よい」「2 おおむねよい」の評価が高い。ただ、教職員、保護者の評価との差が若干あるため、「自律した生徒」を目指すためにも、学校・家庭において時間を意識して生活させたい。
	設問 1 3	そうじの時間には、自らすすんで担当の場所をきれいにしようとしていますか。		生徒の評価は高いが、教職員の評価は「3 やや不十分」が若干多い。指示を受けたり、指示を待たったりではなく、生徒が自ら汚れなどを見つけ、主体的に清掃活動ができるように、清掃指導を充実させていきたい。
保 健 安 全	設問 1 4	毎日元気な学校生活をおくるため、食事や睡眠など、基本的な生活習慣を意識して生活していますか。		生徒の睡眠や食事などの生活習慣に課題があると考えられる。学校保健委員会や養護教諭から出される生活チェックなどを活用しながら、基本的な生活習慣の確立が健康の維持増進につながることを意識させたい。
	設問 1 5	自分自身や身の周りの安全に気をくばり、事故やケガが起こらないように、登下校や学校生活を送ることができていますか。		生徒自身の評価はとても高い。交通安全や熱中症・ケガの防止などの指導を安全主任や養護教諭・保健主事などが中心となって定期的に行っており、意識が高まっていると考えられる。

特別活動	設問 1 6	学校行事や学年行事(体育祭、文化祭、合唱コンクール等)に向けて、学級の仲間と協力して練習や準備に取り組むことができましたか。	生徒 保護者 教職員		生徒・教職員・保護者ともに高い評価である。各行事ごとに目標を明確にし、生徒同士の関わり合いを大切に活動しているからだと思われる。また、設問17からも、行事などの活動を学級・学年全員で取り組んでいる様子がうかがえる。
	設問 1 7	行事を通して、仲間のよさを認めあうことや助け合うことのよさを感じることはできましたか。	生徒 保護者 教職員		「1 よい」「2 おおむねよい」の割合が三者ともに高い。行事の目標に向けて全員で協力しながら取り組む経験や、事後の振り返りなどを通じて、認め合う場の設定などを今後も継続していく。
	設問 1 8	委員会活動や学級の係活動などに、責任をもって、自らすすんで活動していますか。	生徒 保護者 教職員		全体的には、よい評価が見られ、生徒たちが学校・学級のために活動していることがうかがえる。日々の生活において、生徒たちが自分で考えて、積極的に行動できるように、学級の時間を活用しながら伸ばして行きたい。
	設問 1 9	部活動では、自分の目標をたて、目標の達成に向けて、自分なりに努力することができていますか。(参加していない生徒は答えなくてよい)	生徒 保護者 教職員		多くの生徒が部活動を楽しみにしており、自分自身の力を伸ばすために取り組んでいるとうかがえる。部活動に関わる環境が大きく変わってきている中で、部活動の運営についても模索していくことが必要である。
教職員	設問 2 0	先生たちは、みなさんの気持ちを理解しながら悩みや相談事などを聞いてくれていますか。	生徒 保護者 教職員		全体的には、三者ともに、肯定的な評価の割合が高い。ただ、教職員の接し方に、物足りなさを感じている生徒・保護者もいる。個々の生徒に寄り添った支援を教職員全体で進めていく。
	設問 2 1	先生たちは、みなさんのよいところを認めて、ほめて、背中を押してくれようとしていますか。	生徒 保護者 教職員		設問20と同様に、教職員の接し方に全体的に肯定的な評価が多い。ただ、「3 やや不十分」「4 不十分」と回答している生徒・保護者の評価を真摯に受けとめ、個々の生徒に寄り添った支援について、教職員で考えていく。
	設問 2 2	先生たちは、みなさんに困ったことやいじめなどがあったときに、しっかりと対応してくれていますか。	生徒 保護者 教職員		「3 やや不十分」「4 不十分」としている生徒・保護者の評価を真摯に受けとめ、教職員が的確に対応できるように、教職員個人だけでなく、学年・学校の体制を拡充させる。
	設問 2 3	先生たちは、みなさんが安心して通えるような学校づくりに努めていますか。	生徒 保護者 教職員		生徒・保護者・教職員ともに、肯定的な評価の割合が高い。安全な環境づくり、安心して生活できるような人間関係づくりやコミュニケーション能力の育成など、生徒の安心・安全を第一に、学校全体で取り組んでいく。
	設問 2 4	先生たちは、協力して団結しながら、みなさんの学校生活を支えていると思いますか。	生徒 保護者 教職員		全体的に肯定的な評価の割合が高い。「チーム東陽」として、一人一人の生徒を学年・学校が丸となって、支えていくことを続けていく。

教育活動を

振り返って

令和7年度

学校評議員会

活動報告

【本年度の主な活動】

◆第一回評議員会

五月二十二日

- ・教育活動の説明
- ・委嘱状の交付

◆第二回評議員会

一月二十二日

- ・一年間の活動報告
- ・学校関係者評価

本年度も、地域の行事やボランティア活動へ、昨年度以上に多くの生徒が参加する様子が見られ、ボランティアが生徒たちのなかに定着してきたようです。道徳科のアンケートでも「地域の行事にすすんで参加している」と答える生徒が増加しており、本校が目ざす、「地域とともにある学校」として、地域のために行動できる生徒たちの姿は頼もしく思います。

【意見・要望など】

ボランティア活動へ参加している生徒の様子を見ると頼もしく感じる。活動を通して自己肯定感を高められるとよい。

・外国籍の生徒が多い学校だからこそ、多様性や共生を学べる機会を大切にしたい。

・SNSで交流する機会が多い世代であるが、コミュニケーション能力が高め合える活動を充実したい。

ただ、そこには生徒たちが活躍できる場を与えてくれる、地域の存在が大きいと感じます。大人がやれることでも、生徒たちに考えさせ、企画や準備、そして運営を任せてくれる。そんな後押しがあるからこそ、生徒たちはいきいきと参加できるので。地域で育てられた生徒たちが、いつの日か地域を支えることができると思います。そのような将来の地域の担い手として、これからも地域とともに生徒たちを育てていきたいと思います。

一年を振り返って

三年生

「栄光ノ架橋〜伝説の学年づくり」を目標として、「」を学年目標とし、全員が明るく、楽しく、そして安心して生活できる学級・学年づくりを大切に、さまざまな活動に取り組みました。

三年生では、中学卒業後の進路について真剣に考え、日々の授業では、教科担任や友達の話をつかりと聞き、学習内容を理解しようとしてよく努力している姿がたくさん見られました。また、周りとの話し合いや教え合い、関わり合いにも上手に取り進むことができました。総合的な学習の時間には、SDGsに関する学習を進めました。よりよい未来を見据え、今、自分にできることについて真剣に考えました。

十月の体育祭では、リーダーを中心にとの団も団結して必死に仲間を応援する姿が見られました。合唱コンクールでは、三年生らしい重厚で華麗な歌声を体育館中に響かせました。

「中学校生活三年間を振り返って、今君は何を想いますか。」後輩たちにも頼りにされ、よき手本となる先輩になれたでしょうか。「伝説の学年づくり」は、どのくらい完成に近づけたのでしょうか。「四月からまた、新しい環境での皆さんの活躍に期待しています。からだと心の健康を第一に、ともにがんばりましょう。」

「あたりまえにできることが

あたりまえにできること」の幸せ」

二年生

「ONE TEAM」を学年目標として、①一人(ONE)を大切にすることができると集団づくり(Team)②失敗しても挑戦し続けることができると学級・学年づくり③プレッシャーや困難に打ち勝ち、責任を果たすことを目指して、さまざまな活動に取り組みしました。

十一月には職場体験学習を実施しました。二年生にとって非常に大切な行事となりました。六月から準備を始め、電話のかけ方や働くことの意義などを学習しました。なかなか事業所が決まらず苦戦する生徒もいましたが、興味のある職場を一人、一事業所選びました。事前訪問のアポとり電話では、電話のかけ方講座で学んだことをいかしながら丁寧な言葉で電話をかけることができました。

体験初日には緊張感や不安な表情が多く見られましたが、体験最終日に近づくことに、働く中での楽しさや喜びが挨拶や笑顔から感じ取れました。体験を終えた生徒の感想からは「あいさつや返事など、ふだん言われていることがやっぱり大切なんだと感じた」「お金を稼ぐということはずっと責任がともなうと思った」「なご、ふだんの学校生活では気づかないような視点から物事を考えられたことがうかがえました。また、事業所の方から「こんない子はみたことがない」と褒めの言葉をいただいたり、「うちでバイトをしてみない」と誘われたりする生徒もいました。この体験学習を通して働くことへの興味や将来の進路選択の助けとなればと思います。

そしてこの体験学習で大きく成長した二年生。来年度はいよいよ中学校生活の締めくくりにあたる年です。どんな一年になるのか楽しみです。最上級生であり、最高の学校・学年であることまちがいないでしょう。

一年生

「The Journey」を学年目標として、出発した一年生。この一年はみなさんにとって新しい世界への旅の始まりでした。小学校とは違う教室、教科担任制、新しい教科、部活動。そして初めて見る岩田小の友達。初めてしゃべる多米小の友達。不安と期待が入り混じる中での出発だったと思います。

オリ合宿で作ったカレー、みんなで囲んだキャンプファイヤーで友達が増えました。東陽祭では、全員リレーや長縄、合唱コンで学級の絆を深めてきました。仲間と声をかけ合い、意見をぶつけ合い、最後までやり抜いた経験は、みなさんを確実に強くしてくれました。学習面でも、中学校の勉強の壁にぶつかり、ついていけないと感じた人もいたでしょう。しかし、友達に聞いたり、先生に相談したりしながら、一歩ずつ前に進む姿勢がたくさん見られました。旅の途中で迷っても、立ち止まって考え、また歩き出すことができる力は、これからの長い「人生の旅」でも必ずみなさんを支えてくれます。そして、旅は決して一人で歩くものではありません。隣で励ましてくれる仲間。毎日送り出し、見守ってくださる家族の存在があったということに、感謝の気持ちを忘れないでください。まだ旅は始まったばかりです。みなさんの地図にはどんな道が描かれていますか。そしてどんな道を描いていきますか。

保護者のみなさまには、温かなご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。これからも続く旅路をともに応援し、見守っていただきます。と思います。